



報道で紹介された美瑛高校 09

◆令和5年9月1日(R5. 9. 7 びえい新聞)

1年生が「地域巡検」を行いました。国内外に誇れる美瑛町の観光と農業の課題を実際に見聞きし、さまざまなことを考えました。それぞれのテーマを策定し、今後の発表につなげていきましょう。

びえい新聞

2023年(令和5年)9月9日 (2)

農業と観光の課題を現地で確認 美瑛高校1学年「地域巡検」



美瑛農業と観光をテーマに、フィールドワークを通じ地域の抱える課題を探求。美瑛高校1学年の地域巡検が、9月1日に行われた。総合的な探求の時間に実施されたもので、地域巡検は継続的に町内在住の写真家の中西敏貴氏が協力している。

当日は、まず校内の視聴覚室で中西氏が「世界に誇れる美瑛の魅力」と題し、写真家の仕事をはじめ、風景に見る美瑛の魅力や特長、観光客のマナー、農地への立ち入り問題などを講義。その後バスで移動し、青い池の様子を見学。「初めて来た」という生徒たちもおり、海外からの観光客の多さを実感していた。続いて、志を同じくする若手農業者たちが集まり農業と観光の問題解決に向けた活動を展開して

いる「畑看板プロジェクト」のメンバー、大波太郎氏の農場でヒアリング。生徒たちは、大波氏が語る観光客の農地立ち入りの現況や「畑看板プロジェクト」の意義、農業への思いに耳を傾けた。さらに「畑看板プロジェクト」の看板が建てられているセブンスターの木に移動。中西氏は「ブラウマンの空庭。」と表記された看板を前に設置の目的などを話しながら「ここに書かれているブラウマンたちの思いをしっかりと読み取ってほしい」と伝えた。

美瑛高校に戻った生徒たちは、それぞれ思い考えたことを取りまとめ。美瑛町が抱える農業と観光の課題について認識を深めた。

この後の探究活動に生かしていきましょう！！